

2020 年度 トライウォール「エコフィン生命の森」植林報告

以下のように、植林作業を実施したことを報告します。

1. 植林作業実施概況

植林 実施日	春季	植林作業・・・・・・2020 年 5 月 22 日～29 日 新規植林地 約 8.2ha 新植林本数 20,400 本
植林場所	モンゴル国セレンゲ県 アルタンボラグ村ゴロワンツァガントルゴイ周辺	
樹種	ヨーロッパアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> (在来種) の 2 年生苗	
植林作業	オグナー (GNC Mongolia スタッフ) サラ (GNC Mongolia スタッフ) アルタンボラグ村及びボゴント村の村民など約 50 名 (延べ人数)	

2. 2020 年植林地の概況報告

今年の植林地は去年の植林地に隣接している場所で、国境の町アルタンボラグ村より東方に位置している。植林地周辺はもともと林であったが 2009 年 6 月の林野火災や伐採により草地化が徐々に進んでいた。また、近年の温暖化による生態系の変化が周辺の環境に影響を与えている。豊かな生態系を持つ森林を早期に復元するため、植林により森林再生を行う。

現在は行政主導のもと、村役場や森林組合がパトロールを行い、不法伐採を防ぎ、火災の早期発見・初期消火活動を行っている。

今年も昨年同様、二つの場所から苗木を調達した。ボゴントから輸送した良質の 40cm の 2 年生アカマツ苗木と、GNC モンゴリアが管理する苗畑で育てた 2 年生アカマツ苗木 (昨年から苗の使用を開始) だ。

古木、草や岩が多く、植林前にチェーンソーで古木を切り草を抜き、岩をどかしながら溝を掘って二人一組で効率よく植え付けを行った。地面に大きく溝を掘り、苗木を植えていく。大きな溝には雨が溜まり、乾燥を防げるようにしている。

植生はイネ科やキク科の下層植生が密生している。土壌は砂質壤土で保水性が良好だった。ここ数年、苗の育成が好調だが今年も苗が大きく成長することを期待する。今年度の植林密度は 2500 本/ha、春季植林が完了したことを報告する。

3. 植林時の写真



遠景



植林する前の苗木



植林作業



植林作業





植林した苗





Tri-Wall Ecoffin Forest
トライウォール『エコフィン生命の森』



This tree-planting project is the key elements of Tri-Wall Bitmap Group's Social Contribution Programs through global environmental conservation activities with the support of GNC. この植林事業は、トライウォールジャパン株式会社、ウィルライフ株式会社及び全国葬儀社の皆様のご協力により、環境社会貢献活動のために、GNC の協力を得て行われたものです。

2020 年 5 月植林 8.2 ha 20400 本



GNC Mongolia
Хамтаар орших дэлхий
НИЙТИЙН ХОЛБОО



看板デザイン

看板写真



集合写真

4. 今後の展望

- ① コロナ禍においても行えるような、屋外で行える環境学習（農業体験など）のプログラムを組み立て実行する。
- ② GNC モンゴリア施設の苗床の管理体制を強化し、育苗本数を増やす。